

令和 7 年産水稻の作付面積及び 9 月 25 日現在の予想収穫量の補足資料

関東農政局統計部

【栃木県の作柄概況】

(生産者が使用しているふりい目幅ベース)

- 1 栃木県における令和 7 年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は、6 万 7,000ha（前年産に比べ100ha増加）と見込まれる。

うち、主食用作付面積は 5 万 8,100ha（前年産に比べ9,100ha増加）と見込まれる。

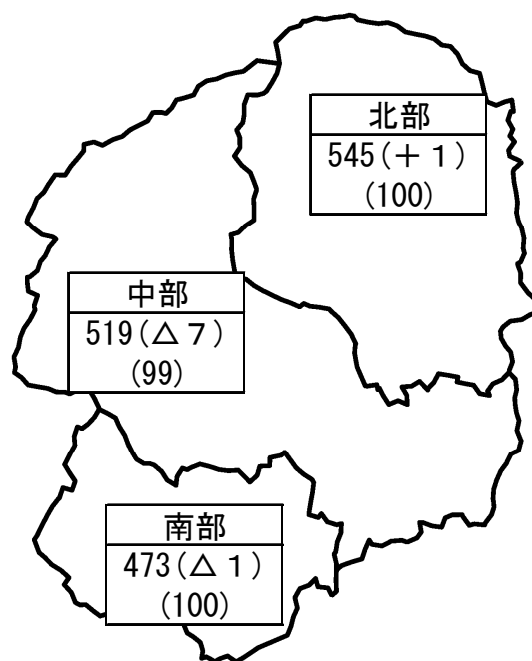
- 2 9 月 25 日現在における栃木県の 10 a 当たり予想収量（生産者が使用しているふりい目幅(1.85mm)ベース)は517kg（前年に比べ△ 4 kg、対前年比99）と見込まれる。これは、分けつ期に当たる 5 月下旬及び 6 月中旬が多雨、寡照であったことから穂数がやや少なくなったものの、幼穂形成期に当たる 7 月上・中旬の天候が順調に推移したことにより 1 穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数（穂数×1 穂当たりもみ数）は「前年並み」となり、また、千もみ当たり収量は、出穂期以降、高温により登熟が抑制されたことから「やや少ない」と見込まれるためである。

なお、作柄表示地帯別では、北部で545kg（同+ 1 kg、100）、中部で519kg（同△ 7 kg、99）、南部で473kg（同△ 1 kg、100）と見込まれる。

- 3 主食用作付面積に 10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふりい上米））は30万 400 t（前年産に比べ 4 万 5,100 t 増加）と見込まれる。

図 作柄表示地帯別 10 a 当たり予想収量
(9 月 25 日現在)

栃木県
517(kg) (前年差△ 4 (kg)) (対前年比99)



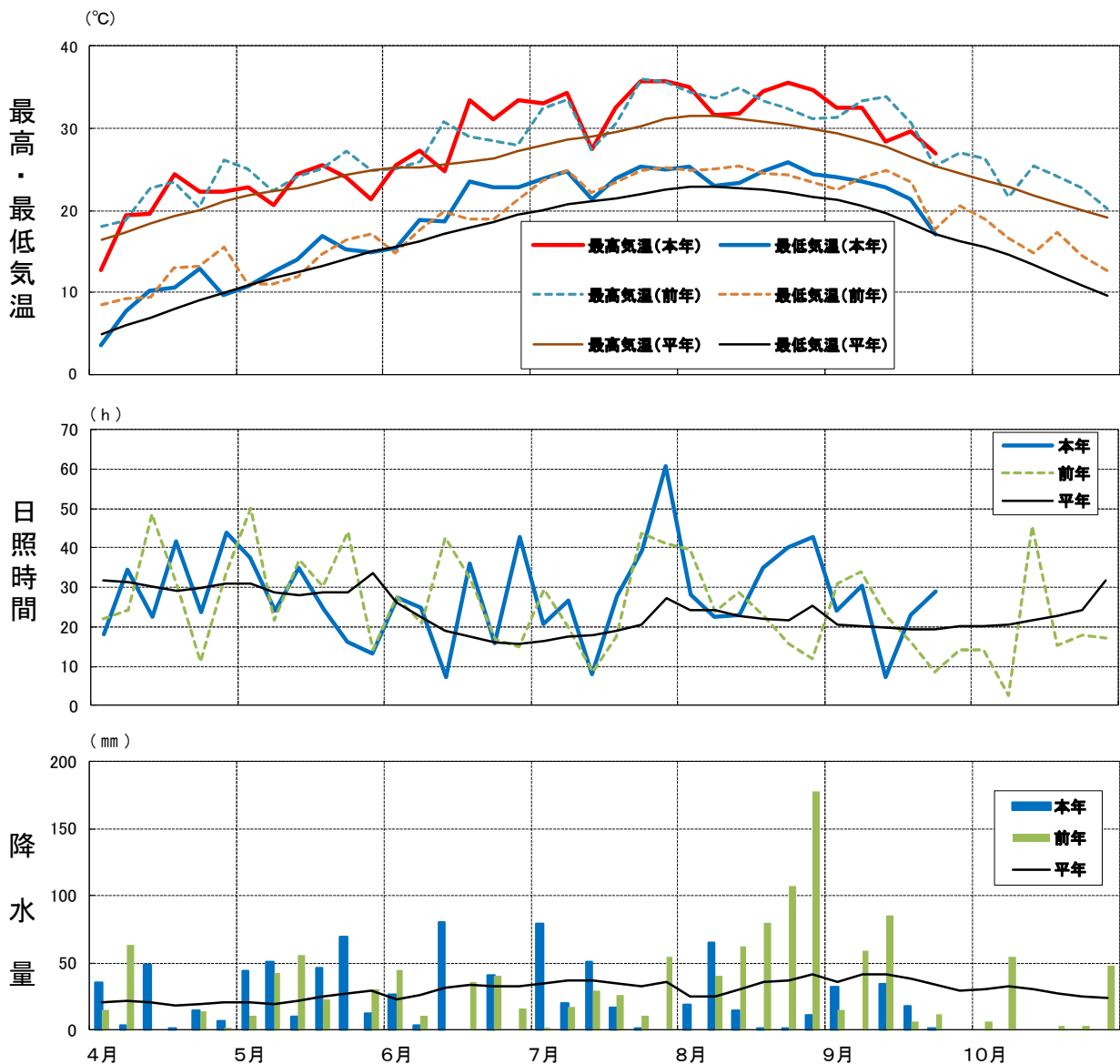
○ この資料は、「令和 7 年産水稻の作付面積及び 9 月 25 日現在の予想収穫量」10 月 10 日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次の URL から御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR01_09 】 二次元コードはこちら →



令和7年 半旬別気象（宇都宮）



資料：気象庁

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 栃木県拠点 統計担当
 電話：028-633-3106